

## T 日程・英語外部試験利用入試 1限

| 科 目   | ペー ジ  |
|-------|-------|
| 数 学 ① | 2~13  |
| 数 学 ② | 14~41 |
| 地 理   | 42~49 |
| 国 語   | 75~52 |

## 〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 志望学部・学科によって選択する科目・試験時間が決まっているので注意すること。

| 志望学部(学科)                                      | 受験科目     | 試験時間 |
|---|----------|------|
| 下記以外の学部(学科)                                   | 数学①または国語 | 60 分 |
| 文学部(日本文)                                      | 国 語      | 90 分 |
| 文学部(地理)                                       | 地 理      | 60 分 |
| 情報科学部(コンピュータ科・ディジタルメディア)                      |          |      |
| デザイン工学部<br>(建築・都市環境デザイン工・システムデザイン)            |          |      |
| 理工学部<br>(機械工〔機械工学専修〕・電気電子工・応用情報工・経営システム工・創生科) | 数学②      | 90 分 |
| 生命科学部<br>(生命機能・環境応用化・応用植物科)                   |          |      |

- 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。  
一度選択した科目の変更は一切認めない。
- 数学②・国語については、志望学部・学科によって解答する問題番号が決まっている。問題に指示されている通りに解答すること。指定されていない問題を解答した場合、採点の対象としないので注意すること。
- 数学①②については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
- マークシート解答方法については、問題冊子を裏返して裏表紙の注意事項を読みなさい。ただし、問題冊子を開かないこと。
- 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (文学部地理学科 地理)

文学部地理学科を志望する受験生のみ選択できる。

[ I ] 自然環境に関する次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えよ。

ア は一つの地域で長年にわたってくり返される総合的な大気の状態をいう。ア は、日射、風、気圧、降水、蒸発、気温などのイ の組み合わせによって成り立ち、緯度、水陸分布、海拔高度、地形、海流などのウ に影響される。

世界の年平均気温をみると、気温は低緯度から高緯度に向かうにつれて低下する。しかし、同じ緯度でも、海陸の分布や海拔高度、海流の影響などで、エ は必ずしも緯線と平行になるとは限らない。また、エ は等間隔になるとも限らない。

陸地をおおう土や岩石に比べ、水は比熱が A(大きく・小さく)、温まり B(にくく・やすく)、冷め C(にくい・やすい)という性質をもっている。そのため、海に近いところでは、気温の年較差が比較的 D(大きい・小さい)海洋性気候となる。一方、大陸内部では気温の年較差が E(大きい・小さい)大陸性気候となる。

ユーラシア大陸の西岸では、F(寒・暖)流のオ 海流のもたらす熱が、カ 風によって内陸深くまで運ばれるため、高緯度にわたって温和な気候が広がっている。そのため、キ 半島の北西岸には、北極圏内であっても冬季に海水に閉ざされない不凍港がみられる。

(1) アフリカ大陸では、赤道を中心に最寒月平均気温がク ℃以上の熱帯気候が分布し、その周囲に乾燥帶気候が分布している。

問1 文章内のア ~ ク に当てはまる最も適当な語を答えよ。同じ記号には同じ語が入る。

問2 A～Fに当てはまる語を、2つの語のうちから適切な語を選び、答えよ。

問3 下線部(1)に関して、不凍港の鉱業における役割を具体的な事例をあげて説明せよ。

問4 下の図1は北緯50度付近に位置するウィニペグ・シアトル・モントリオールの雨温図である。a～cにあてはまる都市名をそれぞれ答えよ。

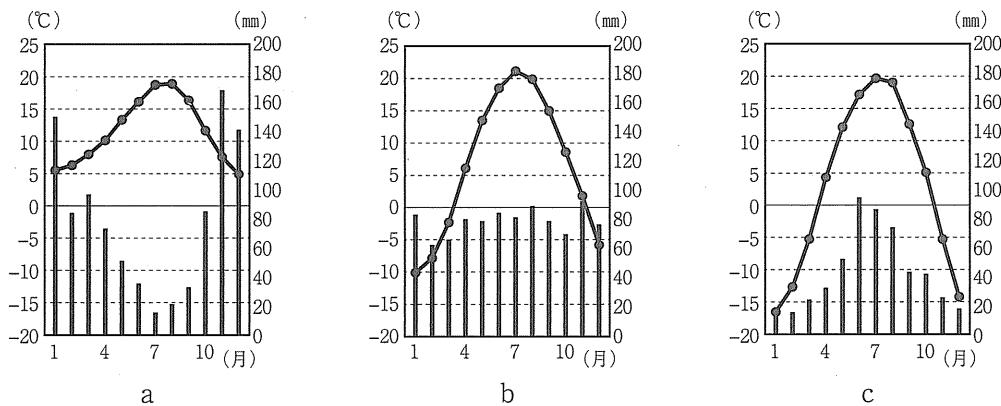


図1 雨温図

資料：『理科年表平成30年版』より作成

## 地理

[Ⅱ] 地図に関する次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

地図は、対象とする空間を、地図記号を用いて縮小し、図的に表現したものである。対象空間の拡がりは、宇宙、惑星、月、そして地球全体から身近な空間まで、さまざまなレベルが存在する。通常は2次元平面に表現されるもの(紙地図)を指すが、広義には立体的に作られた模型(立体地図)や地球儀、地表を斜め上から俯瞰した a 図なども地図と呼ぶことがある。

地図は社会インフラとされ、国や都道府県などの自治体が測量や調査を行なって、各種の基本的な地図を作成している。自治体には、計画や管理のため地図が不可欠である。通常は b 図と呼ばれる——地形図がその代表例である——地図を編集・加工して背景図(基図あるいは台図)とし、そこに社会・経済・文化など目的に応じた各種の個別情報を上乗せして、さまざまな地図が作られる。これを c 図という。ガイドマップ、交通網図、統計地図、住宅地図、宗教地図、歴史地図、言語地図、疾病地図等々、そのバリエーションはほとんど無限である。

地図はまた、いろいろな観点から分類することができる。例えば、地球の表面を縮小して表現するという観点からは、相対的な言い方だがその縮小の度合いによって大 d 図と小 d 図に分けられ、作成方法という観点からは、実測図と編集図とに区分される。球体である地球表面の、全部ないし一部を平面に写し取って表わすためには、e を少なくするための何らかの工夫が必要であり、さまざまな地図の投影法が開発されている。だから世界全図を用いて c 図を作成するときは、背景図として f (3) が正しく描かれたものを用いるべきである。

問1 文章内の a ~ f に当てはまる最も適当な語を答えよ。同じ記号には同じ語が入る。

問2 下線部(1)について、日本では国土地理院が、さまざまな縮尺の地形図を発行してきた。以下のうちで国土地理院発行の地形図の縮尺としては存在しないいものはどれか。また実測図はどれか。それぞれに該当するもの一つずつ下の語群の中から選んで(ア)～(エ)の記号で答えよ。

## 語群

- (ア) 1万分の1 (イ) 2.5万分の1  
(ウ) 5万分の1 (エ) 10万分の1

問3 下線部(2)について、一つの点に一定の値を代表させ、その点を背景図上の分布位置に載せたものを何と呼ぶか。その名称を答えよ。

問4 下線部(2)について、以下の①～④のような場合に用いられる最も適当な地図作製法はどれか。下の語群の中から選んで(ア)～(オ)の記号で答えよ。

- ① 都道府県別の人囗密度の違いを分かりやすく示す場合  
② 国家間の人や物資の空間的移動を量的に示す場合  
③ アメダス(AMeDAS)の観測地点でのデータを用いて、年降水量の分布を示す場合  
④ ある地域の統計データを視覚的に比較するため、図形記号を用いて地図上に示す場合

## 語群

- (ア) 階級区分図 (イ) カルトグラム (ウ) 図形表現図  
(エ) 等值線図 (オ) 流線図

## 地理

問5 下の図1中の(ア)～(オ)の世界図投影法のうち、下線部(3)に該当しないものは  
どれか。一つ選んで(ア)～(オ)の記号で答えよ。

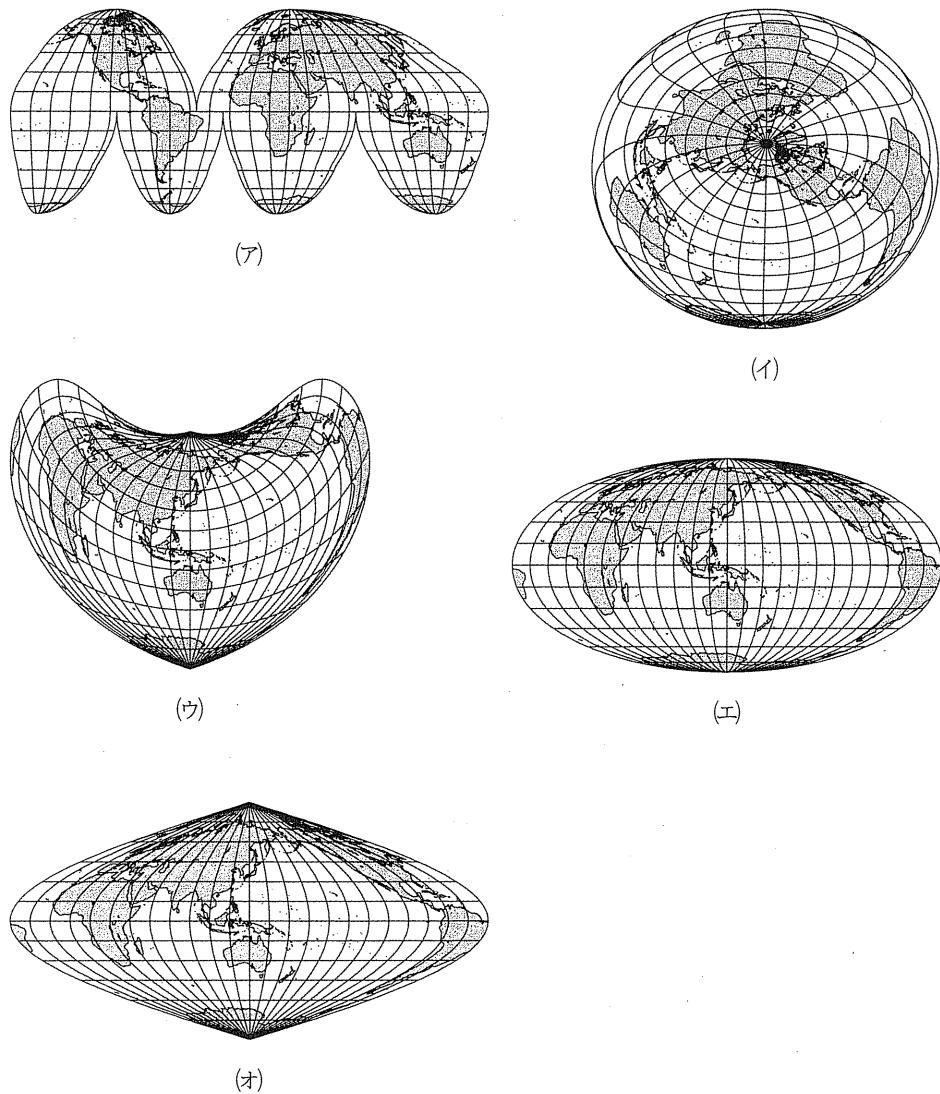


図1

問6 実際に客観的に存在する地理的空间を地図化したものではなく、人間が社会的・文化的な状況のもとで対象物に意味を付した地理的空间を頭の中に地図化したものを作成する。その名称を答えよ。

〔Ⅲ〕 ヨーロッパに関する次の文章を読んで、以下の問いに答えよ。

1952年、石炭や鉄鋼などの戦略物資を共有することを目的に、西ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、A の6か国間でA が設立された。

1958年には幅広い分野での経済統合をめざしたB と Euratom(ヨーロッパ原子力共同体)が発足、1967年にはA、B、Euratom の3組織が集まって EC(ヨーロッパ共同体)が設立される。

1973年、EFTA(欧州自由貿易連合)を脱退したイ と同じく EFTA を脱退した北欧のウ がアイルランドとともに EC に加盟、1981年にはエ も EC に加盟した。1985年にはシェンゲン協定<sup>(1)</sup>が調印され、統合の深化が始まる。1986年、スペイン、オ の2か国が EC に加盟し、EC は12か国体制となった。

1992年、ヨーロッパ連合条約(マーストリヒト条約)が調印され、翌年、EC は EU(ヨーロッパ連合)になった。1995年、オーストリアと北欧諸国のカ、キ が EU に加盟するが、北欧諸国でもク とケ は EFTA にとどまった。カ は北欧最大の工業国であり、ク は有数の産油国である。

1999年、大半の EU 加盟国の金融機関でユーロによる決済が始まり、2002年、日常の消費生活にユーロが導入された。2004年には EU の東方拡大が進展し、合計10カ国が加盟した。2007年、東ヨーロッパのブルガリアとコ が EU に加盟する。2013年、クロアチアが EU に加盟し、加盟国は28か国となった。

問1 文章内のア からコ に当てはまる国名を答えよ。

問2 文章内のA、B に当てはまる組織名を答えよ。

問3 文章内の下線部(1)に関して、シェンゲン協定について40字以内で説明せよ。

## 地理

問4 EUに関する次の説明文①～⑥を読み、正しいものを二つ選んで、その番号を答えよ。

- ① EU本部はオランダのアムステルダムに置かれている。
- ② 欧州議会の議場はベルギーのブリュッセルにある。
- ③ EU加盟国の中には、単一通貨ユーロの導入を留保している国がある。
- ④ EUの共通農業政策では、主要農産物に統一価格を設定している。
- ⑤ EUの総予算に占める共通農業政策予算は増加傾向にある。
- ⑥ 1960年代から加盟を申請してきたモロッコは、イスラム教の国であること、西サハラ問題等のために、加盟が留保されている。

問5 次の表1はイギリス、ドイツ、フランスの外国人流入人口の内訳(2014年)を見たものである。表1中のC、D、Eに当てはまる国名の組み合わせを下の選択肢①～⑥のうちから一つ選んで、その番号を答えよ。

表1 イギリス、ドイツ、フランスの外国人流入人口の内訳

(単位：人)

| 順位       | 国名    | C       | D     | E         |
|----------|-------|---------|-------|-----------|
| 1位       | インド   | 46,000  | ポーランド | 190,900   |
| 2位       | 中国    | 39,000  | ルーマニア | 190,900   |
| 3位       | ルーマニア | 37,000  | ブルガリア | 77,400    |
| 4位       | ポーランド | 32,000  | イタリア  | 70,400    |
| 5位       | E     | 24,000  | シリア   | 64,700    |
| 合計(その他共) |       | 504,000 |       | 1,342,500 |
|          |       |         |       | 168,100   |

資料：『2018データブック オブ・ザ・ワールド』より作成

## 国名の組み合わせ

|   | C    | D    | E    |
|---|------|------|------|
| ① | イギリス | ドイツ  | フランス |
| ② | イギリス | フランス | ドイツ  |
| ③ | ドイツ  | イギリス | フランス |
| ④ | ドイツ  | フランス | イギリス |
| ⑤ | フランス | イギリス | ドイツ  |
| ⑥ | フランス | ドイツ  | イギリス |